

令和5年度 通常総会

議 案 書

令和5年6月20日

大分コンビナート企業協議会

**令和5年度
大分コンビナート企業協議会**

通常総会

令和5年6月20日

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

第3号議案 大分コンビナート企業協議会規約の改正について

第1号議案

令和4年度事業報告及び収支決算について

令和4年度事業報告

1. 通常総会

通常総会を開催し、役員を選任、令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画及び収支予算を議決した。

また、講演を開催し、コンビナートの役割や、カーボンニュートラルに向けた動向、更なる競争力強化や国のコンビナートへの支援施策など講演いただいた。

開催日 令和4年6月23日
場所 レンブラントホテル大分
講演 経済産業省資源エネルギー庁 資源・燃料部
石油精製備蓄課 課長 細川 成己 氏
成城大学経営学部 教授 平野 創 氏
「コンビナートとカーボンニュートラル」

2. 競争力強化検討部会

競争力強化ビジョンに基づく協議会の活動における企画運営を担うとともに、各分科会の活動計画、活動状況の取りまとめを行った。

(部会開催実績)

- 第1回：令和4年6月17日
- ・グリーン・コンビナートおおいたの実現に向けた取組検討
 - ・各分科会活動報告、全国コンビナート立地道府県協議会の要望状況
- 第2回：令和5年3月29日
- ・ものづくり未来宣言、九州経済産業局より施策説明 他

3. 分科会活動事業等

競争力強化ビジョンの実現のため、4つの分科会と1つのプロジェクトチームを設置し、それぞれのテーマに沿って検討及び具体化に取り組んだ。

○ユーティリティ分科会

各事業所での余剰エネルギーやユーティリティ資源、副産物の事業所間での相互融通、連携等を検討

幹事：ENEOS、レゾナック

メンバー：鶴崎共同動力、日本製鉄、NSスチレンモノマー、大分エル・エヌ・ジー、住友化学、大分瓦斯、東亜合成、日本硫炭工業、日油、大分県

活動内容：ワーキンググループ活動、工場見学、先進地視察、資源エネルギーの融通検討、副生水素の活用、地場企業との連携検討 等

○物流分科会

良好な港湾設備を最大限に活かすため、船舶大型化への対応や荷役対応力の強

化等を検討

幹 事：日本製鉄、ENEOS、大分県

メンバー：レゾナック、NS スチレンモノマー、王子マテリア、
大分エル・エヌ・ジー、住友化学、三井E & S
JX 金属製錬、大分市

活動内容：水先人体制強化の取組、関係機関との勉強会・意見交換会 等

○規制緩和分科会

効率的な事業展開や設備増強を制度面で支えるため、危険物エリアにおける
非防爆機器の活用などを検討

幹 事：レゾナック、大分県

メンバー：ENEOS、日本製鉄、NS スチレンモノマー、
九州電力、住友化学、大分市

活動内容：勉強会、各種規制緩和の検討、各種届出や提出書類の省略・簡
素化 等

○人材育成分科会

優秀な人材の育成・確保のための効果的な仕組の構築・運用を検討

幹 事：レゾナック、NS スチレンモノマー

メンバー：ENEOS、九州電力、王子マテリア、
大分エル・エヌ・ジー、住友化学、三井E & S
JX 金属製錬、大分瓦斯、大分県

活動内容：女性の活躍推進セミナー、安全実技体験研修、出前授業 等

○スマート保安・IoT推進プロジェクトチーム

産業保安のスマート化を図るため、IoT・AIの活用推進として
ドローンなどの活用を検討

幹 事：ENEOS、レゾナック、NS スチレンモノマー、
日本製鉄、大分県、大分市

メンバー：九州電力、王子マテリア、大分エル・エヌ・ジー、住友化学、
三井E & S、JX 金属製錬、大分瓦斯

活動内容：勉強会、意見交換、各社のスマート保安の取組

4. 人材育成事業

山陽人材育成出前講座を開催し、各企業の中核となる人材の育成を図った。

(人材育成分科会により実施)

第1回 令和4年11月10日～11日

テーマ「設備管理」 10社21名

第2回 令和5年2月6日～7日

テーマ「トラブル事例分析による事故災害の未然防止」 8社17名

※オンライン上でグループ討議・共同作業を実施

講 師：(公社) 山陽技術振興会

費用負担：大分コンビナート企業協議会、参加企業 各1/2負担

令和4年度収支決算

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

収入の部

(単位:円)

| 科目 | 決算額 | 予算額 | 差引 | 備考 |
|---------|-----------|-----------|---------|-------------------|
| 負担金 | 3,861,500 | 3,565,000 | 296,500 | |
| 大分県負担金 | 2,305,000 | 2,305,000 | 0 | |
| 大分市負担金 | 600,000 | 600,000 | 0 | |
| 研修参加負担金 | 956,500 | 660,000 | 296,500 | 山陽人材育成出前講座等参加者負担金 |
| 雑収入 | 16 | 0 | 16 | |
| 預金利子 | 16 | 0 | 16 | |
| 繰越金 | 760,858 | 760,858 | 0 | |
| 計 | 4,622,374 | 4,325,858 | 296,516 | |

支出の部

(単位:円)

| 科目 | 決算額 | 本年度予算額 | 差引 | 備考 |
|----------|-----------|-----------|-----------|------------------------------|
| 分科会活動事業 | 2,467,448 | 2,164,000 | 303,448 | |
| 報償費 | 0 | 350,000 | △ 350,000 | |
| 旅費 | 0 | 228,000 | △ 228,000 | |
| 印刷消耗品費 | 150,700 | 222,000 | △ 71,300 | コンビナートパンフレット作成費 |
| 委託費 | 2,286,668 | 1,000,000 | 1,286,668 | IoT・スマートプラント研修 UTDローン実証事業 |
| 使用料及び賃借料 | 30,080 | 320,000 | △ 289,920 | 会場費 |
| 負担金 | 0 | 44,000 | △ 44,000 | |
| 人材育成事業 | 1,404,700 | 1,320,000 | 84,700 | |
| 負担金 | 1,404,700 | 1,320,000 | 84,700 | 山陽人材育成出前講座受講料 |
| 事務局経費 | 695,895 | 841,858 | △ 145,963 | |
| 報償費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 講師謝金 |
| 旅費 | 60,280 | 64,000 | △ 3,720 | 講師旅費 |
| 食糧費 | 1,599 | 30,000 | △ 28,401 | 会議茶代等 |
| 印刷消耗品費 | 0 | 19,658 | △ 19,658 | 事務用品費等 |
| 役務費 | 3,500 | 10,000 | △ 6,500 | 通信費、振込手数料等 |
| 使用料及び賃借料 | 362,316 | 450,000 | △ 87,684 | 総会・部会会場費等 |
| 負担金 | 168,200 | 168,200 | 0 | 会計事務委託に係る経費 |
| 翌年度繰越 | 54,331 | 0 | 54,331 | |
| 計 | 4,622,374 | 4,325,858 | 296,516 | |

令和4年度会計監査報告

大分コンビナート企業協議会規約第5条第3項の規定に基づき、令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の本協議会の会計を監査した結果、諸帳簿、預金、関係証拠書類等について、いずれも適正に処理及び保管されていることを確認したので報告する。

令和5年5月22日

監事 福島知克



監事 石川良一



第2号議案

令和5年度事業計画及び収支予算について

令和5年度事業計画（案）

1. 通常総会

- ・議案：令和4年度事業報告案及び収支決算案
令和5年度事業計画案及び収支予算案
- 開催日 令和5年6月20日
- 場所 レンブラントホテル 二豊の間

2. 競争力強化検討部会

- ・各分科会の活動計画及び活動状況の取りまとめ、勉強会を実施
- ・「グリーン・コンビナートおおいた」を推進するため、カーボンニュートラル検討PTを開催
(部会開催計画)
 - 第1回：令和5年6月12日
 - ・各分科会取組報告、カーボンニュートラル検討PT 他
 - 第2回：令和6年3月
(カーボンニュートラル検討PT開催計画)
随時開催予定

3. 分科会活動事業

「競争力強化ビジョン」に基づき、分科会を中心に企業間連携の具体的取組を検討、実施

(1) 検討体制

- ・4つの分科会（ユーティリティ、物流、規制緩和、人材育成）とスマート保安・IoT推進プロジェクトチームを中心に取組を推進
- ※検討状況の把握、全体調整については各社の現場責任者等で構成する競争力強化検討部会が担う。

(2) 研修会、先進地視察等の実施

- ・問題解決策の検討のため、分科会毎に特定分野の研修会等を開催

(3) 競争力強化ビジョン実現に向けた活動

- ・ビジョンの実現に向け、関係機関・団体との連携促進や、必要に応じ各種要望活動等を実施

4. 人材育成事業

大分コンビナートの企業間の壁を越えて事業連携を進める上で、共通のテーマに関する講座を開催し、人材育成を図る。

(1) 山陽人材育成出前講座

競争力強化やリスクマネジメントなどに関する人材の育成を目的に、各企業の中核となる者を対象とした人材育成講座を開催

(2回開催：2日間／1回)

(2) プラント運転・保安 IoT/AI 人材育成講座

プラント運転・保安の現場でIoTやAIを活用できる人材を育成するため、プラント運転リーダーや保全リーダーを対象とした講座を開催

(1回開催：2日間／1回)

令和5年度収支予算(案)

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

収入の部

(単位:円)

| 科目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 差引 | 備考 |
|---------|-----------|-----------|-----------|--------------------------------------|
| 負担金 | 3,765,000 | 3,565,000 | 200,000 | |
| 大分県負担金 | 2,305,000 | 2,305,000 | 0 | |
| 大分市負担金 | 600,000 | 600,000 | 0 | |
| 研修参加負担金 | 860,000 | 660,000 | 200,000 | 山陽人材育成出前講座参加者負担金 AI/IoT推進研修参加者負担金 |
| 雑収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 預金利子 | 0 | 0 | 0 | |
| 繰越金 | 54,331 | 760,858 | △ 706,527 | |
| 計 | 3,819,331 | 4,325,858 | △ 506,527 | |

支出の部

(単位:円)

| 科目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 差引 | 備考 |
|----------|-----------|-----------|-----------|--------------------------------------|
| 分科会活動事業 | 1,648,000 | 2,164,000 | △ 516,000 | |
| 報償費 | 200,000 | 350,000 | △ 150,000 | 研修講師謝金等(カーボンニュートラル検討に向けた講師謝金10万円×2回) |
| 旅費 | 128,000 | 228,000 | △ 100,000 | 研修講師旅費(カーボンニュートラル検討に向けた講師旅費6万4千円×2回) |
| 印刷消耗品費 | 0 | 222,000 | △ 222,000 | コンビナートパンフレット作成費等 |
| 委託費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | スマート保安実証事業 ドローン導入セミナー |
| 使用料及び賃借料 | 320,000 | 320,000 | 0 | 会場費、借上バス等 |
| 負担金 | 0 | 44,000 | △ 44,000 | 受講料 |
| 人材育成事業 | 1,320,000 | 1,320,000 | 0 | |
| 負担金 | 1,320,000 | 1,320,000 | 0 | 山陽人材育成出前講座受講料 |
| 事務局経費 | 851,331 | 841,858 | 9,473 | |
| 報償費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 講師謝金 |
| 旅費 | 64,000 | 64,000 | 0 | 講師旅費 |
| 食糧費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 会議茶代等 |
| 印刷消耗品費 | 29,131 | 19,658 | 9,473 | 事務用品費等 |
| 役務費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 通信費、振込手数料等 |
| 使用料及び賃借料 | 450,000 | 450,000 | 0 | 総会・部会会場費 |
| 負担金 | 168,200 | 168,200 | 0 | 会計事務委託に係る経費 |
| 計 | 3,819,331 | 4,325,858 | △ 506,527 | |

第3号議案

大分コンビナート企業協議会規約の改正について

規約の改正について、大分コンビナート企業協議会規約第15条第1項第3号の規定により、下記のとおり議決を求める。

○会員企業名の変更について（第9条、別表1）

第9条に基づき、別表1のとおり定める会員企業について、組織改正に伴い、名称を変更する。

（会員）
第9条 協議会の会員は別表1の企業、団体の代表とする。

（別表1）大分コンビナート企業協議会 会員企業・団体

（改正後）

| |
|----------------------------|
| （略） |
| 株式会社レゾナック 石油化学事業部 大分コンビナート |
| （略） |
| 株式会社三井E&S _____ 大分工場 |
| （略） |

（現行）

| |
|----------------------|
| （略） |
| 昭和電工株式会社大分コンビナート |
| （略） |
| 株式会社三井E&S マシナリー 大分工場 |
| （略） |

参考（規約）

（議決事項）

第15条 次に掲げる事項については、総会により議決する。

- 一 事業計画及び収支予算
- 二 事業報告及び収支決算
- 三 規約の変更
- 四 解散及び残余財産の処分
- 五 その他会長が特に必要と認める事項

大分コンビナート企業協議会 ユーティリティ分科会 令和4年度活動状況について

1 分科会の開催

| | | |
|------|--------|------------------------------|
| 令和4年 | 5月25日 | 幹事会（今年度の取組内容等） |
| | 9月22日 | 第1回ユーティリティ分科会（九重 水素製造現場の視察他） |
| | 12月15日 | 令和4年度おおいた産産交流会 |
| 令和5年 | 3月24日 | 第2回ユーティリティ分科会（大分県内の水素関連事業 他） |

2 検討事項

（1）ユーティリティ融通等に係る検討について

- ・今後の新たな連携の可能性に向け、融通可能性のあるアイテム（エネルギー）の情報を整理するため、最新のユーティリティリスト（発電設備、ボイラー等）を作成
また、カーボンニュートラルに向けた取組連携について検討

（2）地場企業との連携について

- ・地場企業とコンビナート企業との融通・連携を図るため、平成25年度から産産交流会を実施
- ・コンビナート企業と地場企業の双方向によるプレゼンテーションを実施
（ドローン、IoT・業務効率化、新型コロナウイルス対策等）
地場企業の製品展示ブースを設け双方の連携を促進

【令和4年度おおいた産産交流会 結果】

日 時：令和4年12月15日（木）14:00～17:00

場 所：レンブラントホテル大分（大分市東田室町）

参加者：56名参加

| | |
|----------|--------|
| コンビナート企業 | 13社21名 |
| 県内企業・団体 | 16社35名 |

プレゼン等：コンビナート企業1社（(株)三井E&S）
県内企業8社がプレゼン（8社が製品等展示）

- ・大分エネルギー産業企業会との連携
大分エネルギー産業企業会において、副生水素の有効活用を検討継続

3 今後の検討テーマ（案）

（1）連携案件の検討について

- ・副生物のアイテムリスト及びユーティリティリストに基づき、今後の新たな連携案件を発掘、事業所見学会を実施し相互理解を図る

（2）地場企業との連携促進について

- ・地場企業の新技術・新製品の情報提供等、連携の促進

（3）副生水素の有効活用について

（4）カーボンニュートラルについて

大分コンビナート企業協議会

ユーティリティ分科会 令和5年度の活動計画

| 【ユーティリティ分科会】 | | 令和5年度 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-------------|----|----|-------------------|-----|--------------------|------------|----|-------------------|----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| メンバー企業等 (株)レゾナック・・・幹事 ENEOS(株)・・・幹事 鶴崎共同動力(株) 日本製鉄(株) NSスチレンモノマー(株) 大分エル・エヌ・ジー(株) 住友化学(株) 大分瓦斯(株) 東亜合成(株) 日本硫炭工業(株) 日油(株) 九州電力(株) 大分県 | 分科会開催 | | ▲ 分科会 | | | | ▲ 分科会 事業所見学 | | | | | ▲ 分科会 事業所見学 | |
| | 調査研究 | | | ▲ 総会・講演会 | | | | | ▲ 勉強会・ 先進地視察 | | | | |
| | 地場企業との連携 | | | | | | | | | ▲ 産産交流会 | | | |
| | (検討事項) | (1) 連携案件の検討 ・副生物のアイテムリスト及びユーティリティリストに基づき、今後の新たな連携案件を発掘 ・上記リストに基づき事業所見学会を実施し相互理解を図る (2) 2050年カーボンニュートラルに向けた調査・研究(カーボンニュートラルPTと共同) (3) 地場企業、研究機関等との連携促進 ・(一社)大分県工業連合会や、県産業科学技術センターとの連携により、地場企業とのユーティリティ融通や、 産学官での共同製品開発等の案件の抽出に努める。 ・おおいた産産交流会の実施・連携の促進 (4) 県エネルギー産業企業会の水素の有効活用検討について連携 ※上記検討事項に基づき、先進地の視察、意見交換会等の勉強会を実施 | | | | | | | | | | | |

大分コンビナート企業協議会 物流分科会 令和4年度活動状況について

1 分科会等の開催

- 令和4年 6月 6日 幹事会
- 9月 8日 第1回物流分科会（勉強会：カーボンニュートラルレポート）
- 12月21日 大分港CNP検討会（港湾課主催）
- 令和5年 3月28日 第2回物流分科会（課題共有）

2 検討事項

（1）物流課題・要望

- ①港湾関係
 - ・ 2号地乙津泊地等の老朽化対策（令和5年3月補修完了）
- ②公共埠頭・大在コンテナターミナル
 - ・ 中国向けの航路数の増便や危険物倉庫が必要
 - ・ 貨物の荷捌場所の確保
- ③その他（各社の取組状況を共有・意見交換）
 - ・ カーボンニュートラルレポートについて
 - ・ 漁業者との共生

3 今後の検討テーマ（案）

- （1）物流課題検討
 - ・ 各社の取組状況の共有
 - ・ 新規項目の検討
 - ・ 大規模定期修理時の渋滞対策
 - ・ 大分コンビナートにおける物流の強みや課題等の分析・整理
- （2）大分港内の漁業者との共生について
- （3）大分港のカーボンニュートラルレポートへの参画

大分コンビナート企業協議会 規制緩和分科会 令和4年度活動状況について

1 分科会等の開催

| | | |
|------|-------|------------|
| 令和4年 | 5月23日 | 第1回規制緩和分科会 |
| 令和5年 | 1月25日 | 第2回規制緩和分科会 |
| | 3月30日 | 第3回規制緩和分科会 |

2 検討・取組事項

(1) 危険物エリアにおける非防爆機器の活用について

先進事例として四日市市の「製造所等における非防爆携帯型電子機器使用に係るガイドライン」策定に関して意見交換を実施。

「大分県版 非防爆携帯型電子機器使用に係るガイドライン」 策定に向け検討

(2) 各種届出や提出書類の省略・簡素化について

① 廃掃法に基づく行政へ届出の電子化及び簡素化【検討】

- ✓ 住民票等の一部書類については、原本の提出が必要と法的に決まっており、電子化対応は現状難しい。
- ✓ 他県や市の状況も踏まえて引き続き電子化に向けては検討していきたい。

② 大分石油化学コンビナートのように、住宅地から離れた臨海の工業エリアにも、塔状工作物・石油化学品の貯蔵施設の変更に市街地エリアと同等の基準で届出等が必要となっている。高さによっては、市街地から視認できる建造物を届出対象に出来ないか。

【検討】

- ✓ 大分市の計画や条例で有識者の意見を踏まえて届出範囲等を決定
- ✓ 景観については陸地からだけでなく、海からも含まれており、外観が変更になる場合は届けが必要。
- ✓ 手続きの改正等根本を変えるのは困難。
- ✓ 事前の相談や申請後の書類等の差し替え等メールや電話などで柔軟に対応。

(3) 特別管理産業廃棄物の運搬に係るパイプライン使用の特例事業について

レゾナック大分コンビナートの取組紹介及び現地視察を実施し、関連企業での導入可能性及び効果を検討。

3 今後の検討テーマ（案）

(1) スマート化に係る規制緩和について

(スマート保安・IoT 推進プロジェクトチームと連携)

- ①危険物エリアにおける非防爆電子機器、設備保全におけるドローンの活用
- ②先進地視察（四日市コンビナート先進化検討会）

(2) 各種手続きの緩和について

- ①各種届出の簡素化・簡略化、規制緩和要望項目の検討

大分コンビナート企業協議会

規制緩和分科会 令和5年度の活動計画

| 【規制緩和分科会】 | | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----------|--|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| メンバー企業等 (株)レゾナック・・・幹事 ENEOS(株) 日本製鉄(株) NSスチレンモノマー(株) 九州電力(株) 住友化学(株) 大分市 大分県・・・幹事 | 分科会開催 | | ▲ 分科会 | | | | | | | | | | ▲ 分科会 | |
| | スマート化 | ←————— 大分市消防局との協議(スマート保安PTと連携) —————→ | | | | | | | | | | | | |
| | 各種手続き | ←————— 各種届出の簡素化・簡略化検討 —————→ | | | | | | | | | | | | |
| | 要望項目 | ←————— 規制緩和要望項目の検討 —————→ | | | | | | | | | | | | |
| | (検討項目) | (1) スマート化に係る規制緩和について(スマート保安・IoT推進プロジェクトチームと連携) ① 危険物エリアにおける非防爆電子機器、設備保全におけるドローンの活用 ② 先進地との意見交換(四日市コンビナート先進化検討会) (2) 各種手続きの緩和 ① 各種届出の簡素化・簡略化、規制緩和要望項目の検討 | | | | | | | | | | | | |

大分コンビナート企業協議会 人材育成分科会 令和4年度活動状況について

1 分科会等の開催

- 令和4年 5月25日 幹事会
8月31日 第1回人材育成分科会
令和5年 3月23日 女性活躍推進セミナー及び第2回人材育成分科会

2 取組事項

(1) 山陽人材育成出前講座研修（講師 山陽技術振興会）

- ・第1回 令和4年11月10日～11日 ※オンライン上で実施
テーマ「設備管理」10社21名
幹事社：NS スチレンモノマー、レゾナック
- ・第2回 令和5年2月6日～7日 ※オンライン上で実施
テーマ「トラブル事例分析による事故災害の未然防止」8社17名
幹事社：九州電力、NS スチレンモノマー
※受講費用 大分県コンビナート企業協議会より半額助成

(2) 女性活躍推進セミナー 8社13名

- ・講演 社会保険労務士 佐々木 愛子氏
テーマ 「現場の声から考える女性の継続就労」

(3) 安全実技体験研修

- 令和4年10月13日
「火災爆発実体験」「ロール挟まれ実体験」「圧力安全実体験」10社60名受講
担当 レゾナック

(4) プラント運転・保安 IoT/AI 人材育成出前講座

- ・スマート保安・IoT 推進プロジェクトチームと共催

(5) 小中学校出前授業

- 令和4年12月7日「キッチンにある試薬で化学のものづくりを体感」鶴崎小学校5年生71名、
担当 レゾナック

■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「事業所間交流会」、「若手・中堅交流会」は中止。

3 今後の検討テーマ（案）

(1) 若手・中堅社員の人材育成について

- ① 事業所間交流会
- ② 若手・中堅交流会

- (2) 女性の活躍推進について
- (3) 連携した人材育成の取組について
 - ・ 山陽人材育成出前講座

大分コンビナート企業協議会

人材育成分科会 令和5年度の活動計画

| 【人材育成分科会】 | | 令和5年度 | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|----------|----|------------|----|-----------------|-----|-----------------------|------------------------------|----|----|--------------------------|--|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| メンバー企業等 (株)レゾナック・・・幹事 NSスチレンモノマー(株)・・・幹事 ENEOS(株) 九州電力(株) 王子マテリア(株) 大分エル・エヌ・シー(株) 住友化学(株) (株)三井E&S 大分瓦斯(株) JX金属製錬(株) 大分県・・・幹事 | 分科会開催 | | ▲ 分科会 | | | | | | ← 分科会(事業所間交流に合わせ実施) → | | | | ▲ 分科会 | |
| | 山陽人材育成出前講座 | | | | | | ▲ 山陽人材育成出前講座 | | | | | | ▲ 山陽人材育成出前講座 | |
| | 安全実技体験研修 | | | | | | ▲ 安全実技体験研修 | | | | | | | |
| | 出前授業 | | | | | | | | ← 出前授業(未定) → | | | | | |
| | 事業所間交流 | | | | ← 事業所間交流 → | | | | | | | | | |
| | 若手・中堅社員交流 | | | | | | | | | ← 若手見学交流 (事業所間交流に合わせ実施) → | | | | |
| | 女性の活躍推進 | | | | | | | | | | | | ← 女性の活躍推進セミナー(アイネスと共催) → | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

大分コンビナート企業協議会 スマート保安・IoT推進プロジェクトチーム 令和4年度活動状況について

1 プロジェクトチームの会議等開催

- 令和4年 5月23日 第1回PT会議(今年度事業計画、四日市市との意見交換)
12月14日 第2回PT会議(シャープによるローカル5Gの取組紹介)
令和5年 2月24日 UTドローンによる実証事業の開催
3月 9日
～10日 プラント運転・保安IoT/AI人材育成講座

2 取組事項

(1) 設備保全におけるドローン等の活用

- UTドローン及び3Dレーザーシステム実証及び勉強会
(7社17名及び大分市消防局も参加)
- ・「UTドローン」による板厚測定・デモ飛行
(雨天のため体育館で実証)
 - ・3Dレーザー計測
バックパックによるスキヤニング及びデータ取得
 - ・操作・機能及び導入企業事例の紹介

(2) 人材育成

- ① プラント運転・保安IoT/AI人材育成講座(6社16名受講)
・スマートプラント基本講座、スマートプラント技術

※講師: 合同会社コンサルンス 代表 / 中小企業診断士 高安 篤史は経済産業省「プラント運転・保安IoT/AI人材育成講座」講師も務めている。

2 今後の取組(案)

(1) 企業会メンバーの取組み促進活動

- ① 大分コンビナート企業での共通テーマの実証・課題解決に向けた取組
② 企業間の情報共有

(2) AI/IoT リテラシーの向上活動

- ① プラント運転・保安IoT/AI人材育成講座
② ドローン等活用セミナー

(3) スマート保安推進に向けた課題の検討活動

- ① 大分コンビナートでのドローン等に関する各種規制を所管する機関からの情報提供・意見交換、協議会でのガイドライン策定の検討

県からの報告事項について

1. 大分コンビナートの強靱化に向けた取組について

(1) 政府への要望

①全国石油コンビナート立地道府県協議会

構成県（14道府県）…石油化学コンビナート、製油所の立地道府県で構成

会長：茨城県(R4.4～) 副会長：千葉県、岡山県

その他構成県：北海道、宮城県、神奈川県、愛知県、三重県、大阪府、
和歌山県、山口県、愛媛県、大分県、沖縄県

活動：石油コンビナートの産業振興や防災に関し、関係道府県間の情報共有を
図るとともに、政府・関係省庁・政党等への要請活動を行う

○平成25年8月設置

平成28年1月～令和4年3月（会長 大分県）

今年度も、コンビナートの国際競争力の強化と強靱化を2本の柱とし、
国へ要望

(主な要望事項)

○国際競争力強化への支援

- ・発電設備の改修などエネルギー構造の転換に向けた投資や、新たなエネルギー産業の展開を見据えた研究開発・実証実験への支援
- ・エネルギー需給構造や産業構造の転換、CO2回収・貯留の実現に向けた、民民連携や官民連携による取組に対する支援
- ・燃料転換によるエネルギーコスト及びCO2の利活用、回収・貯留等のCO2削減に繋がる技術導入によるCO2削減コストに対する支援の拡充

○強靱化への支援

- ・大規模自然災害時の石油漏洩や火災を防ぐための対策への継続的な支援
- ・国主導による公共護岸の強靱化、民有護岸に対する支援内容や対象の拡充

②県単独要望について

○令和5年6月7日、8日に「グリーン・コンビナートおおいた」の実現に向けた取組や県土強靱化の加速の要望を経済産業省や国土交通省へ実施

(主な要望事項)

- ・水素等のサプライチェーン構築や供給拠点化に向けた技術実証等に対する継続的な支援
- ・CCUS/カーボンリサイクル拠点化に向けた技術実証等に対する継続的な支援
- ・地熱等の再生可能エネルギー開発の加速
- ・カーボンニュートラルポート形成に向けた計画策定に対する財政的・技術的支援

(2) 大分臨海部の地震津波対策の取組について

○南海トラフ地震に備えたコンビナート護岸の強靱化対策について、国の直轄事業化による早期の護岸改修を実施。

→津波・高潮対策として護岸の整備を国が新規直轄事業化

- ・海岸保全施設整備事業 21,367m（護岸（改良）、陸閘、胸壁）
- ・平成29年度～令和17年（2017～2035）
- ・総事業費 300億円

2. 県関連事業紹介について

(1) コンビナート企業と地場企業の連携

- ・地場企業の新技術・新製品PRの場としておおいた産産交流会等の開催
- ・コンビナート企業のスポット発注等のニーズに応じたマッチングを支援

【連携・支援機関】

(一社) 大分県工業連合会 (事務局 工業振興課) ※産産交流会の実施、マッチング支援
(公財) 大分県産業創造機構 ※マッチング支援
大分県ドローン協議会 (事務局 大分県産業科学技術センター)

(2) 次世代エネルギー(水素等)の検討

- 本県の強みである地熱・太陽光等を活用したグリーン水素の製造から利活用まで、コンビナート企業とも連携を図りながら、県内関連産業の育成に向けた取組を推進。

【連携・支援機関】

大分県エネルギー産業企業会 (事務局 新産業振興室)
大分県工業振興課

(3) カーボンニュートラルレポート検討会 (令和4年3月設置)

- 大分港において次世代エネルギー(水素・アンモニア等)の受入環境を整えることで、港湾立地企業がカーボンニュートラル社会においても持続可能な活動を支援。

【連携・支援機関】

大分県港湾課
大分県工業振興課
大分県新産業振興室

(4) グリーン・コンビナートおおいた創出事業

- 大分コンビナートの脱炭素化と事業継続の両立を図るため、産学官連携による検討体制の下、2030年、2050年を見据えて向かうべき方向性(ありたい姿)を関係者共有の「将来ビジョン」等として取りまとめる。

◎コンビナート企業各社においては、企業間の連携を推進するうえで、課題や提案等がありましたら、事務局(県工業振興課)までお知らせください。